

国際展開

T-Engineアプリケーション開発センター（シンガポール）

T-Engineアプリケーション開発センター（T-Engine Application Development Centre：略称TEADEC）^{注1)}は、T-Engineアーキテクチャを推進し、組み込みシステムの開発効率を上げようというT-Engineフォーラムの趣旨に賛同するシンガポールの諸機関の協力、特に以下の3つの機関が中核となり、2003年10月30日に設立されました（写真1）。TEADECは、シンガポール国内のみならず周辺諸国での技術移転に役立つセンターにしようとする積極的に活動を進めています。

- ・シンガポール政府EDB（Economic Development Board）^{注2)}
- ・CHiPES（Centre for High-Performance

Embedded Systems）^{注3)}、Nanyang Technological University^{注4)}・Renesas System Solution Asia Pte. Ltd.^{注5)} TEADECは、その活動スローガンとして“Spur the Next Generation ubiquitous application with T-Engine.”を掲げています。つまり、T-Engineアーキテクチャをもとにして、次世代のユビキタス・コンピューティングアプリケーション製品を作るためのサポートを行うことを意図しています。

このために、シンガポール国内外にT-Engine関連技術のプロモーション、特に組み込みシステム開発関連技術のアジア、太平洋地域に広めることを活動の中心に据えています。

設立母体のひとつとなったCHiPESではすでに組み込み用のASIC CPUコアへのT-

Kernel移植を進めており、英文でポーティングガイドを作っています。Renesas System Solution Asia Pte. Ltd. でも、T-KernelのAPIの詳しい解説を行った利用の手引きを作っており、これらの英語文書はT-Engineフォーラムにフィードバックを予定し、またTEADECのホームページ（図1）でも公開予定です。また中国語文書準備も計画されています。

こういった活動をもとに、TEADECではT-Engineに関するトレーニングや技術サポートをシンガポール国内外で行い、興味を持つ団体、会社、大学、研究所へT-Engineフォーラムへの参加を勧めています。国内外の開発者に対するサポートや、諸外国におけるセンターの設立などの協力を通じて、T-Engineを利用した組み込みシステム開発、



写真1 TEADEC設立記者会見（2003年10月）



図1 TEADECのホームページ

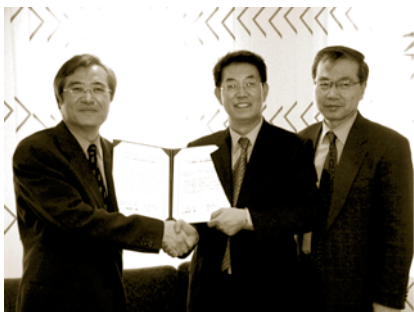


写真2 韓国RFID協会との協定調印（2004年3月）



写真3 TRONユビキタス技術オープンプラットフォーム研究室開設（2004年4月）



T-Engine用のミドルウェアの開発のアジアでのハブとなることをTEADECは願っています。

韓国RFID協会との提携（韓国）

2004年3月、韓国RFID協会とT-Engineフォーラムは、日本ならびに韓国のユビキタス・コンピューティングおよびRFID産業技術の発展に向けて相互協力を図るべく、業務提携を締結することに合意しました（写真2）。それによって、相互に情報提供を行うこと、交流を活発化すること、共同の国際フォーラムの開催、国際活動への共同協力などを含めた包括的内容を合意しています。2004年中には韓国にもユビキタスIDセンターを設立し、実証実験を開始すべく、検討や作業を開始しています。

TRONユビキタス技術オープンプラットフォーム研究室（中国）

2004年4月、中国科学院計算科学研究所は、T-Engineフォーラム、YRPユビキタスネットワークワーキング研究所と共同で、「TRONユビキタス技術オープンプラットフォーム研究室」を開設しました（写真3）。現在、この

研究室を中核として、中国国内でのucodeを用いた実証実験などが検討されています。また、すでに北京大学でもT-Engineの教育コースの新設等の相互協力について合意しており、坂村健T-Engineフォーラム会長は北京大学客員教授の任命を受けています。

KTECの設立（韓国）

2004年7月、韓国システムプログラマーズ

協会（KSP）とT-Engineフォーラムは共同で、韓国内にKTEC（Korea T-Engine Center）を設立し、韓国内向けの韓国語版のT-Engineフォーラムのウェブページの開設（図2）、韓国内におけるT-Engine技術に関する教育普及活動を実施していくことに合意しました。すでに、KTECの母体となっているKSPでは、T-Engine技術に関する講習会や講演会を開催するなどの活動を開始しています。⑦



図2 KTECが開設したT-Engineフォーラムウェブページ

注1) <http://www.t-engine.com.sg/>
 注2) http://www.sedb.com/edbcorp/sg/en_uk/index/about_edb.html
 注3) <http://www.chipes.ntu.edu.sg/>
 注4) <http://www.ntu.edu.sg/publicportal/>
 注5) <http://www.rss.renesas.com/>